

平成27年8月

# 株主通信

YBHD NEWS No.43



つなく、むすぶ、広げる、未来へ

*The Next Perspective*



株式会社横河ブリッジホールディングス

証券コード：5911



代表取締役社長

# 森井 久司

平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

ここに、株主通信「YBHD NEWS」第43号をお届けいたします。

我が国経済につきましては、設備投資や雇用者所得は回復基調を維持しておりますが、海外経済の減速懸念もあるなど、良い指標と悪い指標がまだ模様のようになっており、デフレからの脱却等消費者心理が本格的に上向くには、先行き不安を払拭する政府の追加施策が欠かせないと思われまます。

建設業界につきましては、東日本大震災からの復興と東京オリンピック開催決定によりインフラ整備が加速し始め、過度な人材不足感がありましたが、現在では沈静化に向かいつつあるようです。首都高速道路等の大規模更新による橋梁保全事業やリニア新幹線等のエンジニアリング関連事業、民間設備投資が見込まれるシステム建築事業と、今後も当社グループとして取り組むことのできる事業分野が広がっております。

本年10月の株式会社横河ブリッジと横河工事株式会社の合併により経営資源を一体化させ、発注方式の多様化が進む国内橋梁事業や社会的要請が高まっている保全事業に積極的に取り組み、エンジニアリング関連事業につきましてもグループの力を結集し、事業規模の拡大を図ってまいります。

今後も役員・従業員一同、株主の皆様のご期待に応えられますよう一層の努力をしておりますので、引き続き倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月

平成27年7月29日に、平成28年3月期第1四半期(平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)の決算短信を公表いたしましたので、その概況につきましてご紹介いたします。

### 連結経営成績(累計)

	平成28年3月期第1四半期	平成27年3月期第1四半期
売上高	24,871 百万円	22,845 百万円
営業利益	790 百万円	1,562 百万円
経常利益	888 百万円	1,617 百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	706 百万円	915 百万円

### 【連結経営成績に関する定性的情報】

当社グループの当第1四半期の受注高は、第1四半期として過去最高の231億円(前年同期比71.1%増)となりました。

セグメント別の受注高は、橋梁事業140億8千万円(同122.2%増)、エンジニアリング関連事業84億6千万円(同31.7%増)、先端技術事業5億5千万円(同24.2%減)となりました。

決算面につきましては、当第1四半期の売上高は248億7千万円(同8.9%増)、営業利益は7億9千万円(同49.4%減)、経常利益は8億8千万円(同45.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億円(同22.9%減)となりました。

セグメント別の売上高は、橋梁事業の売上高は豊富な手持ち工事の進捗によって前年同期を上回り、170億9千万円(同10.2%増)となりましたが、一方損益は伸び悩みました。今年

度は架設工程にある新設橋梁の大型工事が多く、そのうちの幾つかの工事の採算が悪化し、工事損失引当金の積み増しも必要となりましたため、営業利益は4億8千万円(同58.4%減)にとどまりました。設計変更による増額の獲得など、それぞれの工事の損益改善に一層取り組んでまいります。

エンジニアリング関連事業の売上高は70億8千万円(同6.2%増)と若干前年同期を上回りましたが、人員増等による固定費の増加により、営業利益は4億5千万円(同9.0%減)にとどまりました。

先端技術事業は安定した受注により売上高は4億9千万円(同6.9%増)、営業利益は4千万円(同33.5%増)の増収増益となりました。

### 平成28年3月期の連結業績予想

	第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)	通期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)
売上高	52,500 百万円	105,000 百万円
営業利益	3,200 百万円	6,000 百万円
経常利益	3,250 百万円	6,100 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,100 百万円	4,000 百万円
1株当たり当期(四半期)純利益	49円35銭	94円00銭

### 【連結業績予想に関する将来予測情報】

平成28年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、前回(平成27年5月14日付け)公表いたしました予想値から変更はありません。



Topics

1

## 株式会社横河ブリッジが中部地方整備局と首都高速道路株式会社から表彰されました！！

### 株式会社横河ブリッジ、国土交通省中部地方整備局より局長表彰(工事・技術者)を受賞

工事名称:平成26年度 474号水窪地区橋梁上部補修工事  
 工期:平成26年8月19日～平成27年3月30日  
 工事内容:補修工事  
 所在地:静岡県浜松市天竜区水窪町  
 静岡県浜松市南区中田島町



本工事は長野県飯田市と静岡県浜松市を結ぶ国道474号のうち県境にある兵越峠の静岡県側(浜松市天竜区水窪町)における橋梁3橋の補修工事および浜松市南区の国道1号上にかかる中田島歩道橋の補修工事です。

水窪町において工事を行った区間は平成27年4月に浜松市に移管されましたが、この移管前に補修工事を行いました。本工事では補修前調査において耐候性鋼材のさびの評価方法に新しい手法を導入するとともに、今後、本橋梁がより長く使用できるように追加で調査を実施し、さまざまな長寿命化策を取り入れました。

国道1号上にかかる中田島歩道橋では、車輛の衝突によって破損した部位の交換を行いました。重交通路線である国道1号を夜間交通規制した中での施工となりましたが、短期間・無事故で施工を終えることができました。

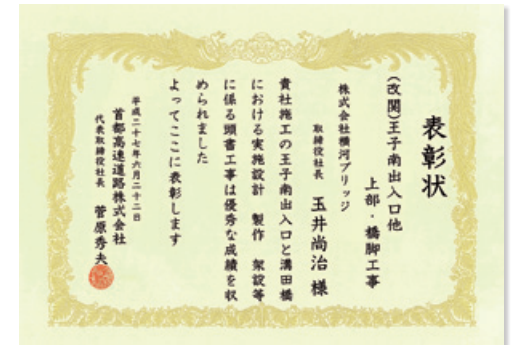
また、本工事では地元駅伝大会や1,300余年続く国指定重要無形民俗文化財である祭(西浦田楽)への協力を通して、地元の方々とのコミュニケーションを積極的に図り、良好な関係を築くことで工事を円滑に進め、無事故で竣工することができました。



このたび株式会社横河ブリッジは中部地方整備局から『水窪地区橋梁上部補修工事』で局長表彰(工事・技術者)を、また首都高速道路株式会社から『王子南出入口他上部・橋脚工事』で優秀工事表彰を受賞しましたのでご紹介いたします。

### 株式会社横河ブリッジ、首都高速道路株式会社より優秀工事表彰を受賞

工事名称:(改関)王子南出入口他上部・橋脚工事  
 工期:平成24年2月10日から平成27年3月10日まで  
 構造形式:単純鋼床版鈹桁(溝田橋)、3径間連続鋼床版箱桁(オフランプ)、3径間連続鋼床版箱桁+単純鋼床版鈹桁(オンランプ)、鋼製橋脚1基  
 鋼重:製作重量403t、取扱い重量816t  
 所在地:東京都北区堀船一丁目、二丁目、王子一丁目



首都高王子南出入口は、オンランプは明治通りから中央環状線の内回りに、オフランプは中央環状線の外回りから明治通りに接続するもので、既設の王子北出入口と併せ、中央環状線の全方向への出入りが可能となりました。

本工事の完成により、全線開通した中央環状線の最後の出入口が完成したことになり、周辺地域から新宿副都心エリアや羽田空港などの湾岸エリア、中央道、東名高速、関越道へのアクセスが飛躍的に向上し、一般道路の渋滞も解消されることとなりました。

出入口の整備に併せ、都道である明治通りが石神井川を横断する「溝田橋」の架け替えも本工事において同時に行いました。

また本工事のオンランプの架設においては、河川上を台船を用いて架橋位置まで桁を曳航し、あらかじめ設置された仮設桁から吊り上げる工法を採用しました。濁水期という限られた時間の中で、関係各機関や関連工事、地元住民との調整を円滑に進める中で、無事に架設を完了させることができました。



## 宮古港海岸藤原地区防潮堤工事で株式会社横河住金ブリッジのプレキャスト製品が採用されました！！

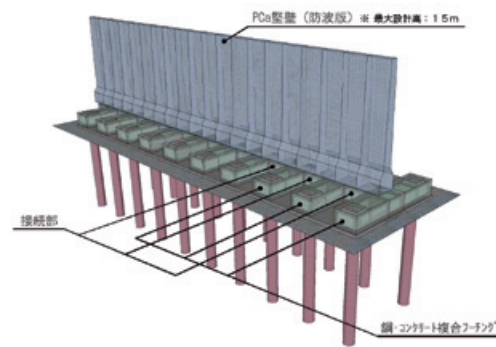
宮古港藤原地区は岩手県宮古市の閉伊川南に位置する埋立地で、原木の輸入量が多い宮古港内の中心的な工業地域で従来から木材・木製品製造業が盛んでしたが、2011年3月の東日本大震災で津波の被害を受け、現在、早期復興をめざして防潮堤の整備が進められています。この防潮堤は天端高さTP+10.4m、総延長約2.1kmの規模で、岸壁の背後でふ頭内の工業用地を包み込むように杭基礎式の直立堤が配置され、巨大地震時の津波に対する防災・減災を図る計画です。

一般的な防潮堤形式の傾斜堤(盛土)の場合、建設費用は安いものの壁高が高いと広い用地と多くの資材が必要です。その点、直立堤の場合はやや費用が高い反面、コンパクトな構造が可能となるので、土地利用を高度化したいふ頭用地などの場所では有効となります。また、東北沿岸域の津波被災地では、後背地の早期復興のために防潮堤の整備が急務である一方で、鉄筋工・型枠工等の作業員の不足、建設資材や機械の不足が深刻です。そこで工期短縮・現場資材縮減・現場作業省力化を目的に、製品のプレキャスト化が求められ、このほど横河住金ブリッジの製品が工事に採用されました。

本製品は、プレキャストのRC縦壁と鋼・コンクリート複合フーチングで構成され、鋼管杭基礎に対応しています。縦壁は専用工場で作ることにより強靱で安定した品質を確保、フーチングは高剛性の鋼部材を高耐久のコンクリートで被覆した複合構造で構造のスリム化を図り、基礎は鋼管杭を採用して津波や大地震に対して粘り強



宮古港藤原地区防潮堤(岩手県HPより)



プレキャスト製品構造

株式会社横河住金ブリッジのプレキャスト製品が岩手県宮古港藤原地区の防潮堤整備計画で採用されましたのでご紹介いたします。

い構造としています。工場で製作したブロックを現場で組み立てることで現場資材を縮減し、現場作業の省力化が図れる製品を開発いたしました。実際の現場においても、現場打ちコンクリートの1/3程度の工期で防潮堤の構築が実現できました。施工を担当された建設会社さんからも、工程・品質面で高い評価を受けています。なお、1期工事は竣工しましたが、約4倍の延長の2期工事についても現在部材の製作中で、今後の工事においても引き続きお役に立ちたいと考えております。

横河ブリッジホールディングスグループは、国民の生命・財産を守る防災技術について今後とも研究・開発に真摯に取り組み、社会貢献していく所存でございます。



フーチング据付



縦壁設置

### 【宮古港海岸藤原地区防潮堤工事】

発注者: 岩手県沿岸広域振興局

元請: 樋下建設株式会社

請負範囲: プレキャスト製品の販売

施工延長: 140m

施工数量: 縦壁70枚(2m/枚、高さ7.7m)、

フーチング35基(4m/ユニット、長さ6.8m)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金 交付株主確定日	毎年3月31日、なお、中間配当を行う場合は、 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他 やむを得ない事由によって電子公告による公 告をすることができない場合は、日本経済新 聞に掲載して行います。
公告掲載URL	<a href="http://www.ybhd.co.jp/">http://www.ybhd.co.jp/</a>

### 表紙の写真

水島臨海港道路橋梁(みずしまこうりんこうどうろきょうりょう)

所在地:岡山県倉敷市高梁川河口

構造形式:6径間連続細幅箱桁2連(当社グループ施工分)

ポンツーン(台船)を利用した工法で架設しています。

## YBHDグループ



**株式会社 横河ブリッジホールディングス**  
グループ全体の経営管理



**株式会社 横河ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・精密機器製造



**横河工事株式会社**  
土木・建築・保全



**株式会社 横河システム建築**  
システム建築・開閉式建築システム・環境



**株式会社 横河住金ブリッジ**  
橋梁・橋梁関連製品・セグメント



**株式会社 檜崎製作所**  
橋梁・水処理・環境製品・鉄構製品



**株式会社 横河技術情報**  
情報処理サービス・ソフトウェア開発



**株式会社 横河ニューライフ**  
不動産管理・情報システム・人材派遣



**株式会社 ワイシーイー**  
橋梁等構造物の総合エンジニアリング



**株式会社 横河ブリッジホールディングス**

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目4番44号 TEL. 03-3453-4111(代表)

<http://www.ybhd.co.jp/>

